

# 農業用水の豊富な水量を利用した小水力発電

## <概要>

- ・ 発電所の名称：早月川沿岸第一発電所（富山県滑川市）
- ・ 事業主体：早月川沿岸土地改良区
- ・ 最大出力：530kW
- ・ 年間発電可能量：約277万kWh  
（一般家庭924世帯分の電力に相当）
- ・ 最大使用水量：4.26m<sup>3</sup>/s ・ 有効落差：17.88m
- ・ 運転開始時期：H27年6月（電力会社へ全量売電）
- ・ 総事業費：8億9,000万円

## <特徴的な取組>

- ・ 農業用水の流量と有効落差を活用。
- ・ 既設の農業用水路（鋤川用水路）に新設した取水施設（水圧管路）を用いて同発電所に送水し、高低差17.88mを利用して発電。発電に使用した水は、放水路を經由し用水路に放流。
- ・ 売電収入は、同改良区が管理する農業水利施設の管理費に充当し、農家の負担軽減を図っている。
- ・ 地球温暖化対策に貢献（火力発電と比べ、年間約1500トンの二酸化炭素を削減）
- ・ 同改良区が設立した「早月川電力株式会社」にて既に2基の水力発電所を稼働しているが、本発電所は同改良区として運営管理する初めての発電所。

早月川沿岸第一発電所(全景)



放水口

水車発電機



鋤川用水路

